

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.74

(2019年1月～6月期)

三重県商工会議所連合会
桑名商工会議所
四日市商工会議所
鈴鹿商工会議所
亀山商工会議所
津商工会議所
松阪商工会議所
伊勢商工会議所
鳥羽商工会議所
上野商工会議所
名張商工会議所
尾鷲商工会議所
熊野商工会議所

はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび 2019 年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲20.0 と平成 30 年下期に比べ 7.3 ポイント悪化しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲28.1（前期▲19.9）、建設業 0.1（前期 10.4）、卸売業▲19.3（前期▲13.7）、小売業▲46.2（前期▲38.5）、飲食業▲25.7（前期▲19.9）、サービス業▲13.7（前期▲10.9）、交通運輸業▲11.5（前期▲0.1）、その他の業種▲15.2（前期 10.5）と、すべての業種において前回と比べ悪化となりました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲18.2（前期▲10.5）、中勢地区▲23.3（前期▲12.8）、南勢地区▲16.8（前期▲8.2）、伊賀地区▲21.9（前期▲11.9）、東紀州地区▲29.5（前期▲36.9）となり、東紀州地区を除くすべての地区で悪化となりました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲29.5 となり、現状の D I 値（▲20.0）と比較すると 9.5 ポイントの悪化になると見通しています。業種別では、すべての業種が現状と比べ D I 値が減少し悪化の見通しとなり、地区別では、東紀州地区ではほぼ横ばい、北勢地区・中勢地区・南勢地区・伊賀地区で悪化の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の項目においても、全体 D I 値が前期より悪化の傾向となりました。地区別では「売上状況」「利益状況」は東紀州地区を除く全ての地区で悪化、「販売条件」はすべての地区で悪化、「仕入条件」は南勢地区を除くすべての地区で悪化の傾向となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 16.1%（前期 20.0%）と 3.9%減少、「予定している」とした割合も、全体で 13.5%（前期 15.1%）と 1.6%減少しました。業種別の実績では、交通運輸業が 23.0%で割合が最も高く、地区別では中勢地区が実績・予定ともに 17.3%、14.4%と最も高くなっています。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 6.1（前期 6.8）とほぼ横ばいとなったほか、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 13.6%（前期 14.6%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 65.1%（前期 63.9%）、『設備資金』の割合は 32.1%（前期 33.2%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

2019年8月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県内商工会議所地区の景況	17
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔* 1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔* 2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。

（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔* 3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山

中勢地区……津・松阪

南勢地区……伊勢・鳥羽

伊賀地区……上野・名張

東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内12商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業9,469事業所を対象とした。回答状況は、回答率28.0%、回答企業2,656事業所であった。

3. 調査方法

FAXまたは郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

2019年7月1日～7月12日

※当調査は、“1月～6月期”と“7月～12月期”の年2回、前年同期比のDI値による調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、伊勢・鳥羽・尾鷲・熊野の4商工会議所が担当した。
なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

DI値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

DIとは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

業種別・地区別回答状況

単位:企業 ():% 上:業種別構成率 下:地区別構成率

業種	地区	北勢				中勢			南勢			伊賀		東紀州			計			
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪	伊勢	鳥羽	上野	名張	尾鷲	熊野							
製造業	食料	51	18	19	9	5	23	9	14	16	7	9	4	2	2	17	10	7	111	
	せんい	12	3	2	5	2	0	0	0	2	2	0	8	6	2	1	1	0	23	
	機械	70	30	18	14	8	13	4	9	7	2	5	3	1	2	1	1	0	94	
	金属製品	82	32	26	19	5	12	4	8	17	12	5	3	2	1	5	4	1	119	
	木材	16	9	4	1	2	15	3	12	6	5	1	3	2	1	11	8	3	51	
	化学	10	2	6	1	1	1	1	0	2	2	0	4	2	2	0	0	0	17	
	窯業	25	1	20	3	1	2	0	2	0	0	0	2	2	0	1	1	0	30	
	印刷出版	10	5	1	4	0	18	10	8	0	0	0	1	0	1	2	1	1	31	
	その他	55	14	20	20	1	19	8	11	33	22	11	7	1	6	7	6	1	121	
	計	331 (24.2) (55.4)	114	116	76	25	103 (21.2) (17.3)	39	64	83 (19.7) (13.9)	52	31	35 (19.2) (5.9)	18	17	45 (22.5) (7.5)	32	13	597 (22.5) (100.0)	
非製造業	建設業	土木工事	86	12	40	31	3	20	13	7	10	5	5	14	5	9	10	7	3	140
		建築工事	163	36	76	45	6	50	30	20	41	32	9	11	5	6	13	10	3	278
		その他	153	25	85	38	5	56	34	22	28	25	3	13	5	8	7	6	1	257
		(小計)	402	73	201	114	14	126	77	49	79	62	17	38	15	23	30	23	7	675
	卸売業	食料	24	10	11	2	1	7	3	4	14	12	2	2	1	1	8	7	1	55
		せんい	5	0	4	1	0	2	2	0	7	6	1	1	0	1	1	0	1	16
		その他	57	14	30	9	4	14	3	11	25	20	5	6	1	5	3	3	0	105
		(小計)	86	24	45	12	5	23	8	15	46	38	8	9	2	7	12	10	2	176
	小売業	せんい	31	9	12	4	6	14	4	10	16	14	2	5	4	1	11	6	5	77
		食料	45	14	11	11	9	9	2	7	18	13	5	11	8	3	10	5	5	93
		日用品	15	8	4	1	2	5	2	3	4	4	0	3	1	2	1	0	1	28
		電気製品	12	5	2	3	2	8	3	5	6	6	0	5	4	1	4	4	0	35
		その他	82	21	30	21	10	50	9	41	25	14	11	16	10	6	19	9	10	192
		(小計)	185	57	59	40	29	86	20	66	69	51	18	40	27	13	45	24	21	425
	飲食業	59	14	18	13	14	26	8	18	57	43	14	11	3	8	18	12	6	171	
	サービス業	美容・理容	51	9	15	22	5	8	2	6	15	15	0	9	4	5	9	6	3	92
		ホテル旅館	4	1	2	1	0	3	2	1	15	2	13	1	0	1	6	3	3	29
		自動車整備	26	9	7	8	2	16	3	13	6	5	1	6	1	5	5	2	3	59
		不動産	59	14	38	2	5	21	11	10	10	10	0	8	4	4	3	3	0	101
		その他	86	26	50	7	3	38	21	17	31	27	4	18	4	14	8	5	3	181
		(小計)	226	59	112	40	15	86	39	47	77	59	18	42	13	29	31	19	12	462
	交通運輸業	25	4	6	7	8	25	7	18	4	3	1	2	2	0	5	5	0	61	
	計	983 (71.9) (49.9)	231	441	226	85	372 (76.5) (18.9)	159	213	332 (78.9) (16.9)	256	76	142 (78.0) (7.2)	62	80	141 (70.5) (7.2)	93	48	1,970 (74.2) (100.2)	
	その他	53 (3.9) (59.6)	15	23	11	4	11 (2.3) (12.4)	11	0	6 (1.4) (6.7)	2	4	5 (2.7) (5.6)	2	3	14 (7.0) (15.7)	9	5	89 (3.4) (100.0)	
	合計	1,367 (100.0) (51.5)	360	580	313	114	486 (100.0) (18.3)	209	277	421 (100.0) (15.9)	310	111	182 (100.0) (6.9)	82	100	200 (100.0) (7.5)	134	66	2,656 (100.0) (100.1)	

1. 現状と今後の見通し

a) 現状

全回答企業 2,656 事業所中、「良い・やや良い」が 17.4%、「悪い・やや悪い」が 37.4%で、D I 値は ▲20.0（前期▲12.7）となり、7.3 ポイント悪化した。

業種別の D I 値では、すべての業種において前回と比べマイナス幅が増加し悪化となり、製造業▲28.1、建設業 0.1、卸売業▲19.3、小売業▲46.2、飲食業▲25.7、サービス業▲13.7、交通運輸業▲11.5、その他の業種▲15.2 となった。

地区別の D I 値では、東紀州地区を除く全ての地区で悪化が見られ、北勢地区▲18.2、中勢地区▲23.3、南勢地区▲16.8、伊賀地区▲21.9、東紀州地区▲29.5 となった。

図-1 現状について（業種別）

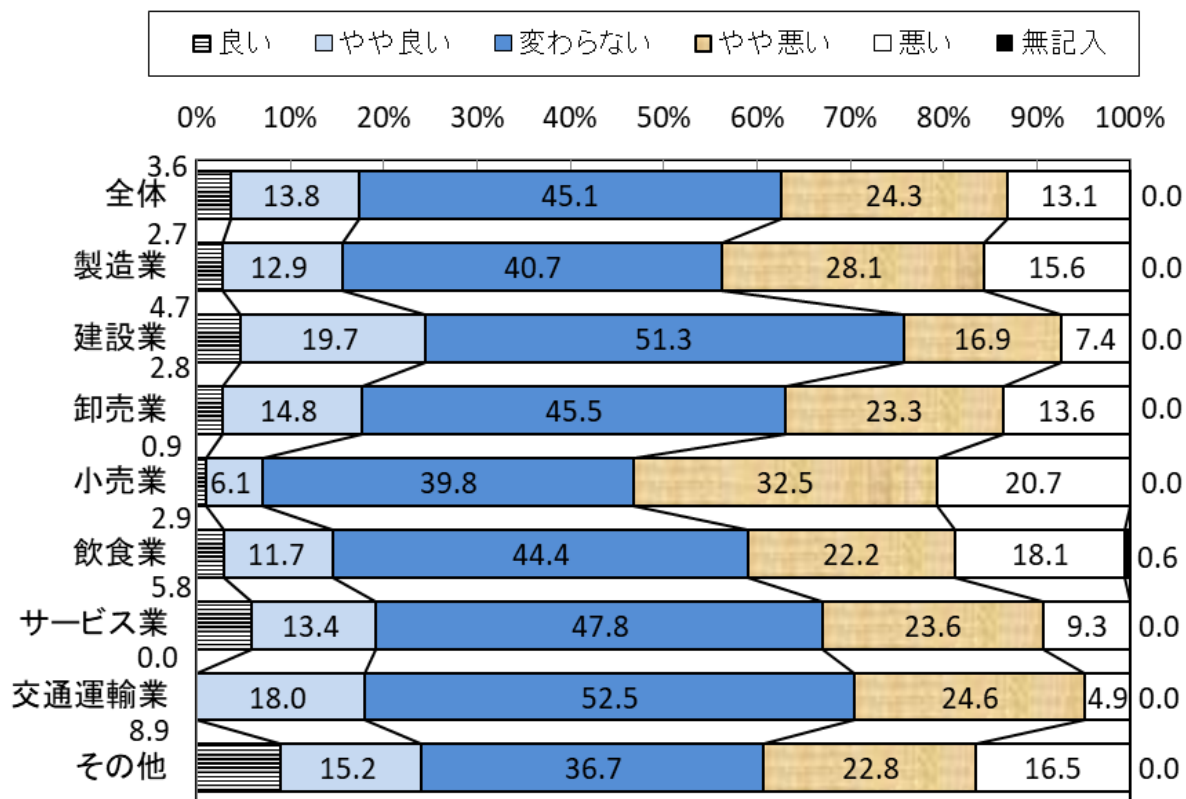
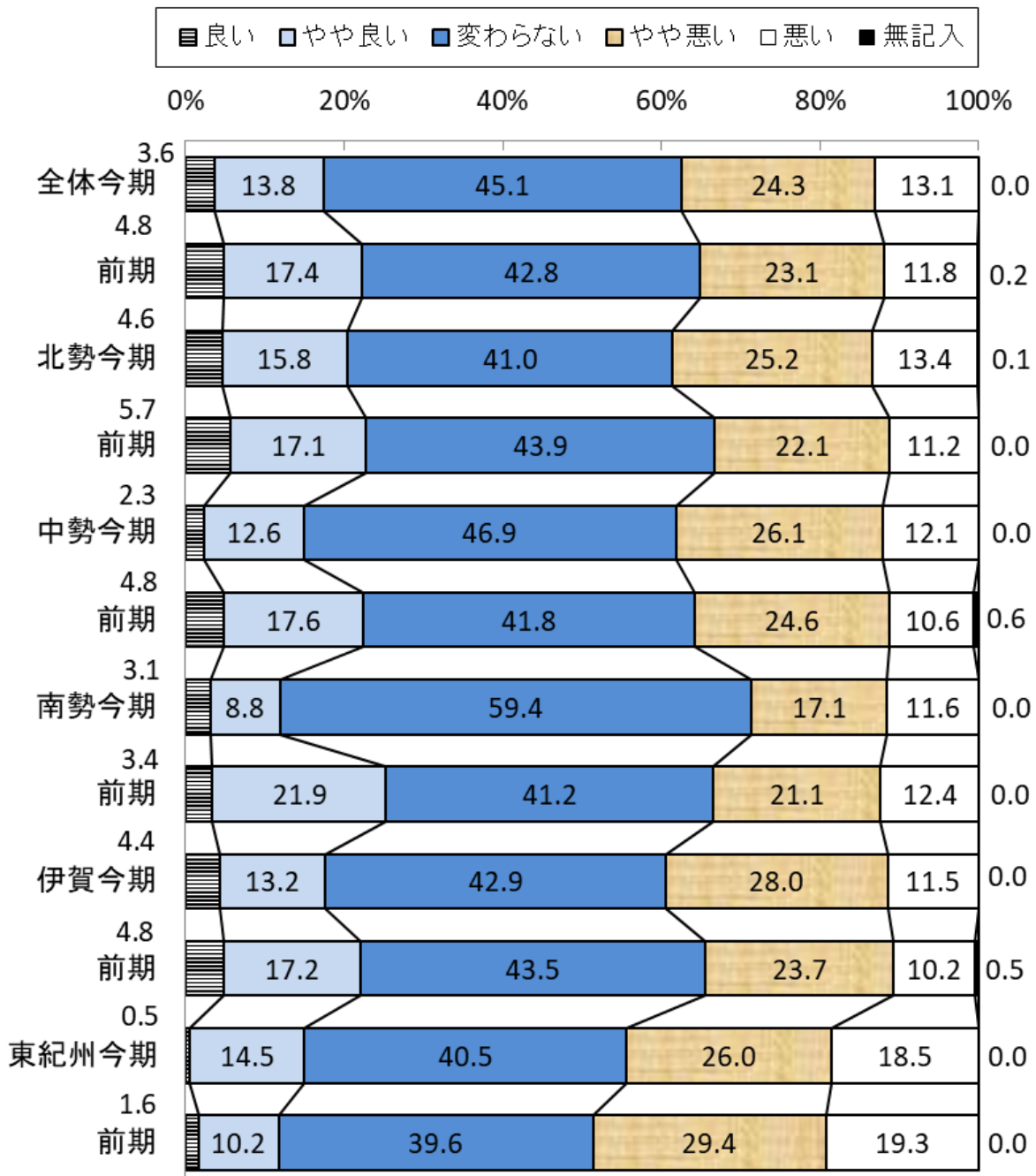
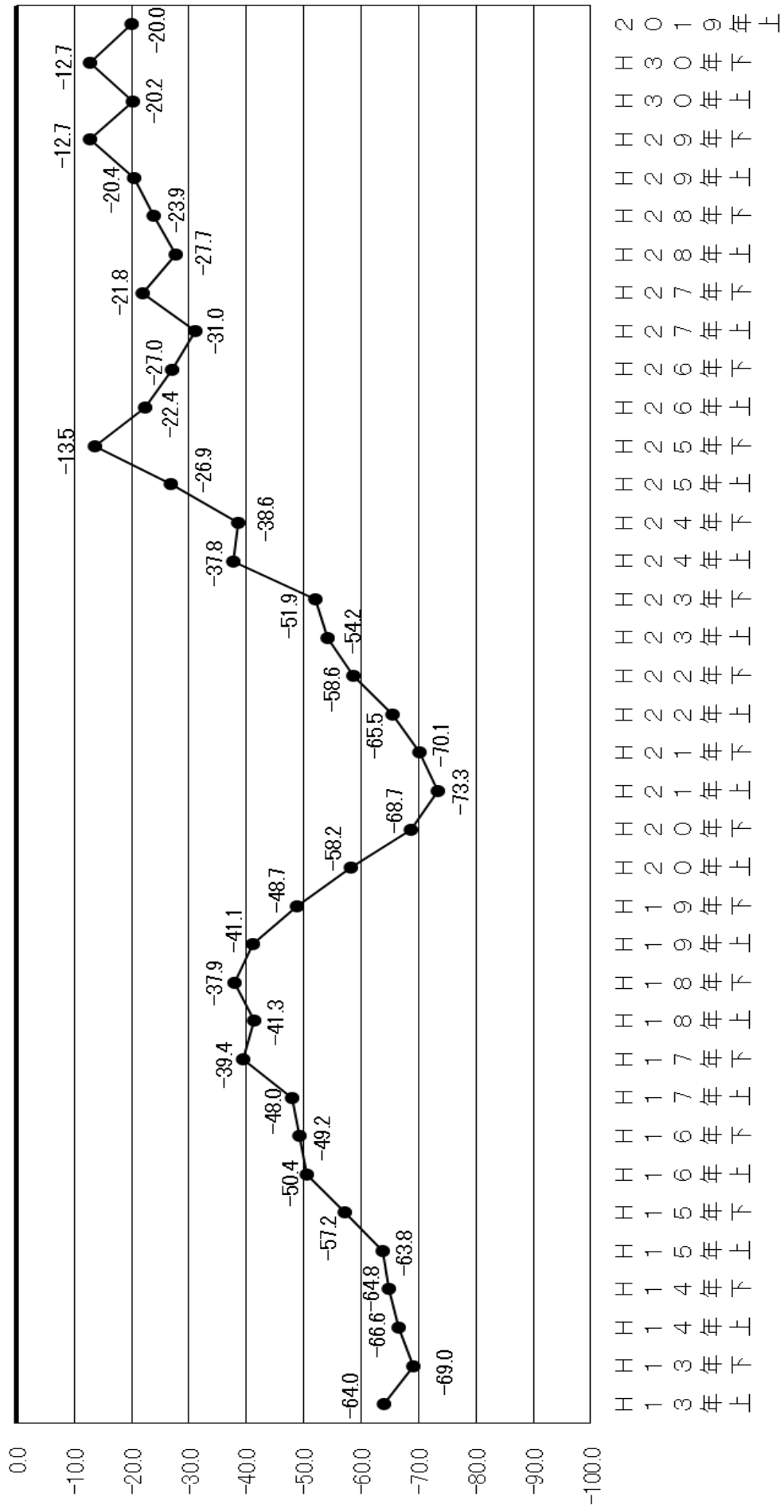


図-2 現状について（全体・地区別）



図一3 現況D I 値の推移



(注) H17下期分までの値はBSI値を2倍した数値で表示

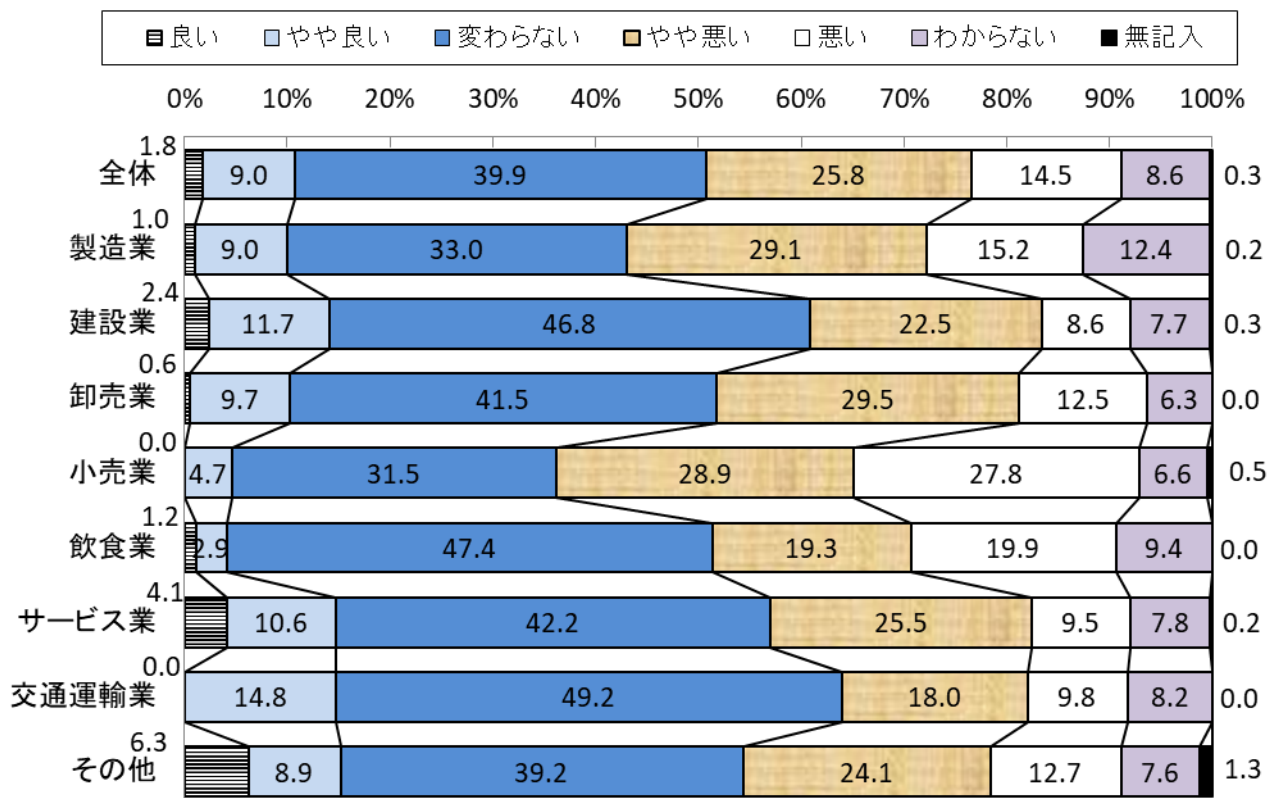
b) 見通し

全体的見通しでは、「良い・やや良い」が 10.8%、「悪い・やや悪い」は 40.3%で、D I 値は▲29.5 (現状D I 値▲20.0) となり、9.5ポイント悪化の見通しとなった。

業種別のD I 値では、すべての業種が現状と比べD I 値が減少し悪化の見通しとなり、製造業▲34.3、建設業▲17.0、卸売業▲31.7、小売業▲52.0、飲食業▲35.1、サービス業▲20.3、交通運輸業▲13.0、その他の業種▲21.6となった。

地区別のD I 値では、東紀州地区▲36.5 とほぼ横ばいとなかったが、北勢地区▲28.9、中勢地区▲35.6、南勢地区▲17.3、伊賀地区▲37.9 とマイナス幅が増加し悪化を見通している。

図-4 今後の見通しについて（業種別）



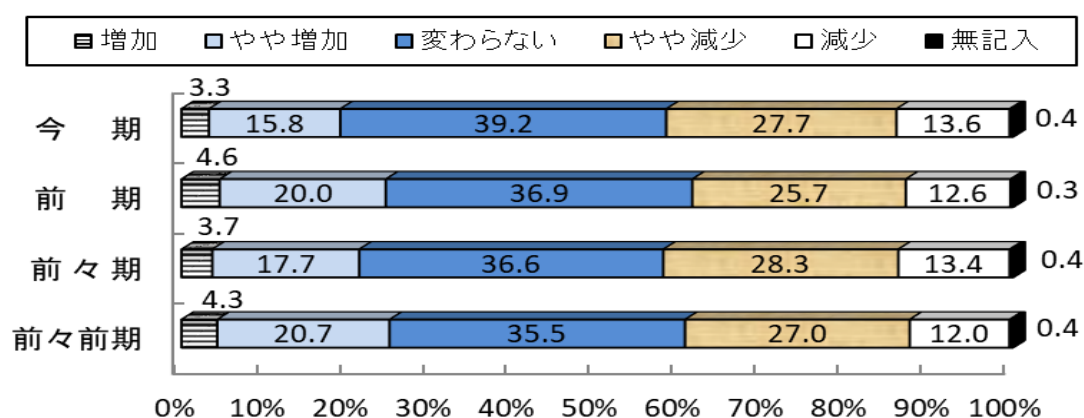
2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が19.1%（前期24.6%）、「やや減少・減少」が41.3%（前期38.3%）で、D I値は▲22.2（前期▲13.7）となり、8.5ポイント悪化した。

業種別のD I値では、飲食業を除くすべての業種で前回と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲27.6、建設業▲5.6、卸売業▲22.7、小売業▲47.0、飲食業▲22.2、サービス業▲17.7、交通運輸業▲9.8、その他の業種▲17.7となった。

地区別のD I値では、前回と比べ東紀州地区を除く全ての地区で悪化が見られ、北勢地区▲19.9、中勢地区▲26.5、南勢地区▲19.5、伊賀地区▲27.0、東紀州地区▲30.5となった。

図-5 売上状況



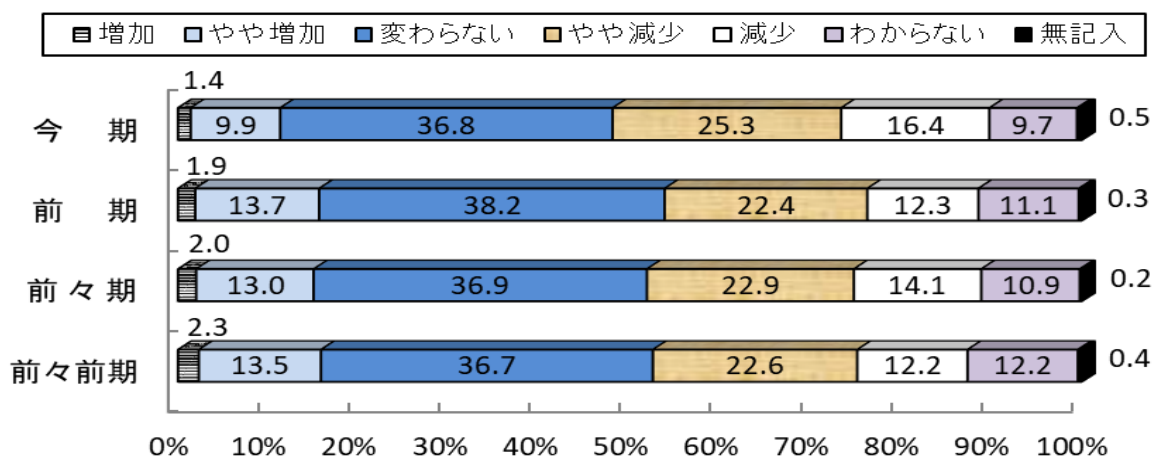
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が11.3%（前期15.6%）、「やや減少・減少」が41.7%（前期34.7%）で、D I値は▲30.4（現状D I値▲19.1）となり、11.3ポイント悪化の見通しとなった。

業種別のD I値では、交通運輸業以外で現状と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲36.1、建設業▲18.8、卸売業▲29.5、小売業▲52.5、飲食業▲34.5、サービス業▲22.7、交通運輸業▲4.9、その他の業種▲19.0となった。

地区別のD I値では、南勢地区▲18.8で現状と比べマイナス幅の減少が見られ改善の見通しとなったが、北勢地区▲29.7、中勢地区▲37.7、伊賀地区▲37.4、東紀州地区▲36.0とマイナス幅が増加し悪化見通している。

図-6 売上見通し



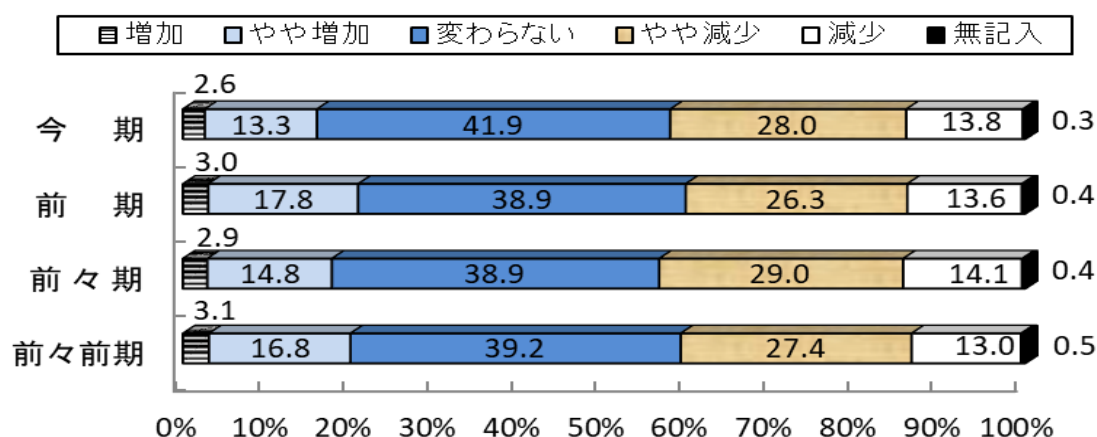
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が15.9%（前期20.8%）、「やや減少・減少」が41.8%（前期39.9%）で、D I値は▲25.9（前期▲19.1）となり、6.8ポイント悪化した。

業種別のD I値では、交通運輸業、その他の業種で前回と比べマイナス幅が減少し改善が見られ、製造業▲30.6、建設業▲11.3、卸売業▲23.8、小売業▲47.1、飲食業▲35.7、サービス業▲21.4、交通運輸業▲4.8、その他の業種▲19.0となった。

地区別のD I値では、東紀州地区▲36.5で現状と比べマイナス幅が減少し改善が見られたが、北勢地区▲24.4、中勢地区▲27.4、南勢地区▲21.5、伊賀地区▲30.8とマイナス幅が増加し悪化が見られた。

図-7 利益状況



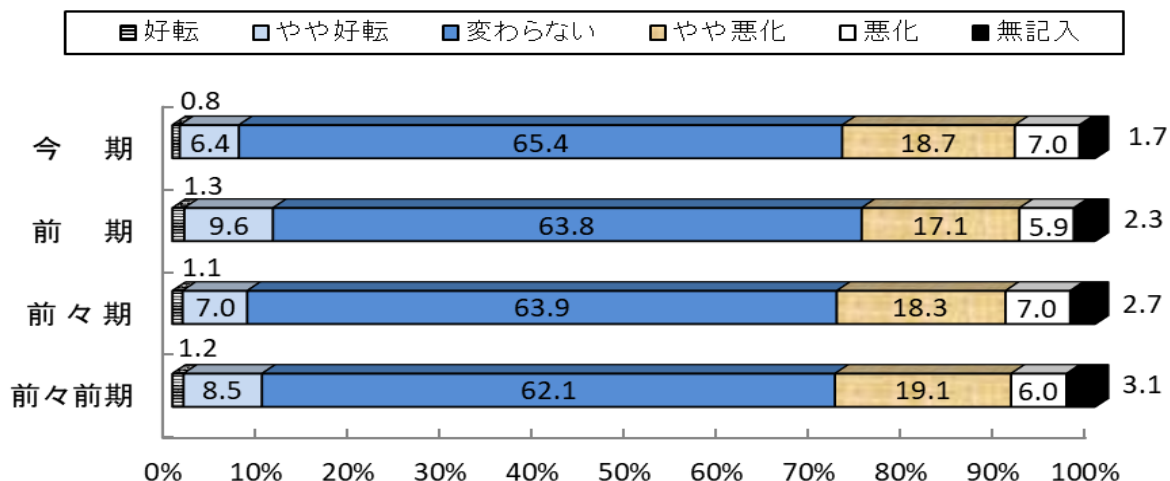
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が7.2%（前期10.9%）、「やや悪化・悪化」が25.7%（前期23.0%）で、D I値は▲18.5（前期▲12.1）となり、6.4ポイント悪化した。

業種別のD I値では、飲食業とその他の業種以外で前回と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲17.0、建設業▲10.1、卸売業▲22.7、小売業▲32.3、飲食業▲22.3、サービス業▲18.1、交通運輸業▲9.9、その他の業種▲15.2となった。

地区別のD I値では、すべての地区で前回と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、北勢地区▲17.6、中勢地区▲21.0、南勢地区▲12.1、伊賀地区▲15.4、東紀州地区▲35.0となった。

図-8 販売条件



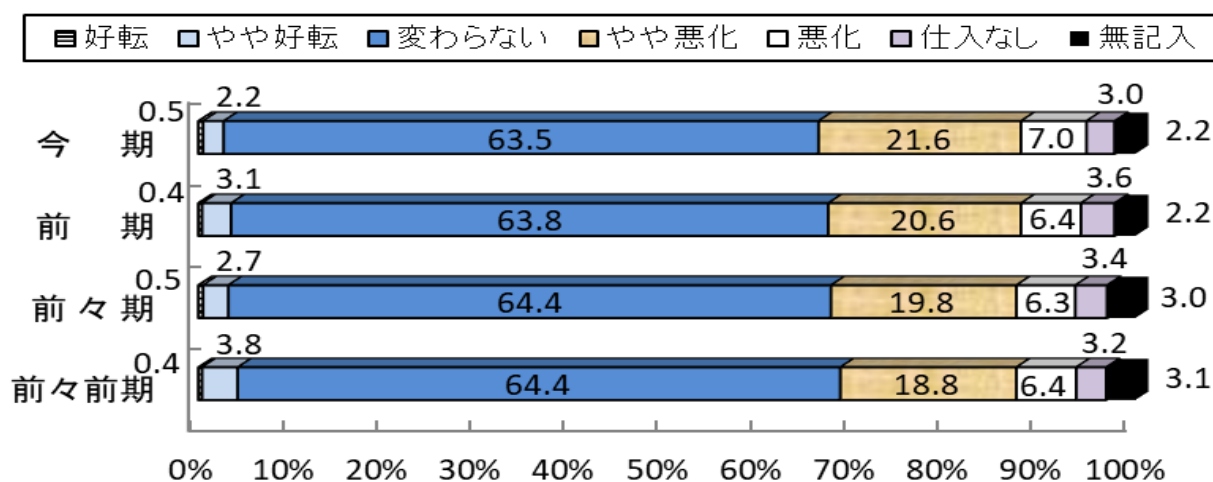
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が2.7%（前期3.5%）、「やや悪化・悪化」が28.6%（前期27.0%）で、D I値は▲25.9（前期▲23.5）と2.4ポイント悪化した。

業種別のD I値では、建設業、交通運輸業、その他の業種で前回と比べマイナス幅が減少し改善が見られ、製造業▲33.6、建設業▲17.6、卸売業▲25.6、小売業▲33.4、飲食業▲42.6、サービス業▲18.1、交通運輸業▲18.0、その他の業種▲12.6となった。

地区別のD I値では、南勢地区▲19.2で前回と比べマイナス幅が横ばいであるが、北勢地区▲27.2、中勢地区▲24.5、伊賀地区▲28.1、東紀州地区▲34.0とマイナス幅が増加し悪化を見通している。

図-9 仕入条件



7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は427社、16.1%（前期510社、20.0%）、設備投資を予定している企業は358社、13.5%（前期384社、15.1%）であった。

業種別では、交通運輸業が24.6%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定についても、交通運輸業が23.0%と最も高い割合であった。

地区別では、中勢地区が実績17.3%と最も高く、設備投資の予定についても中勢地区が14.4%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

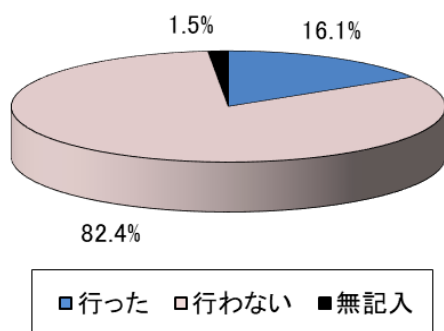
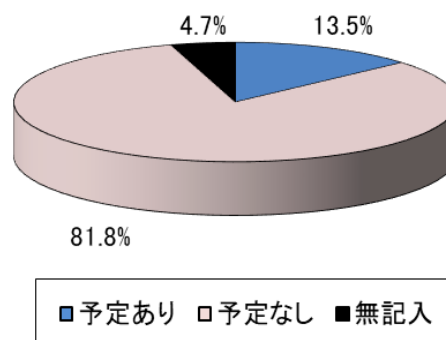


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

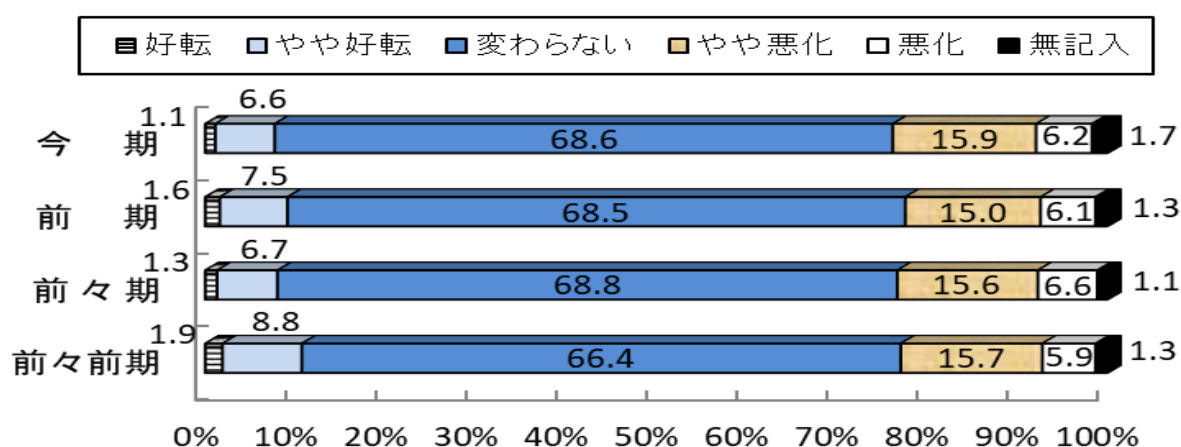
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が7.7%（前期9.1%）、「悪化・やや悪化」は22.1%（前期21.1%）で、D I値は▲14.4（前期▲12.0）となり、2.4ポイント悪化した。

業種別D I値では、建設業、飲食業、その他の業種以外で前回と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲16.7、建設業▲0.2、卸売業▲15.4、小売業▲28.8、飲食業▲24.0、サービス業▲14.1、交通運輸業▲16.4、その他の業種▲12.7となった。

地区別D I値では、東紀州地区▲19.0で前回と比べマイナス幅が減少し改善が見られ、北勢地区▲13.3、中勢地区▲16.9、伊賀地区▲16.5とマイナス幅が増加し悪化、南勢地区▲11.9とほぼ横ばいであった。

図-12 資金繰りの現状



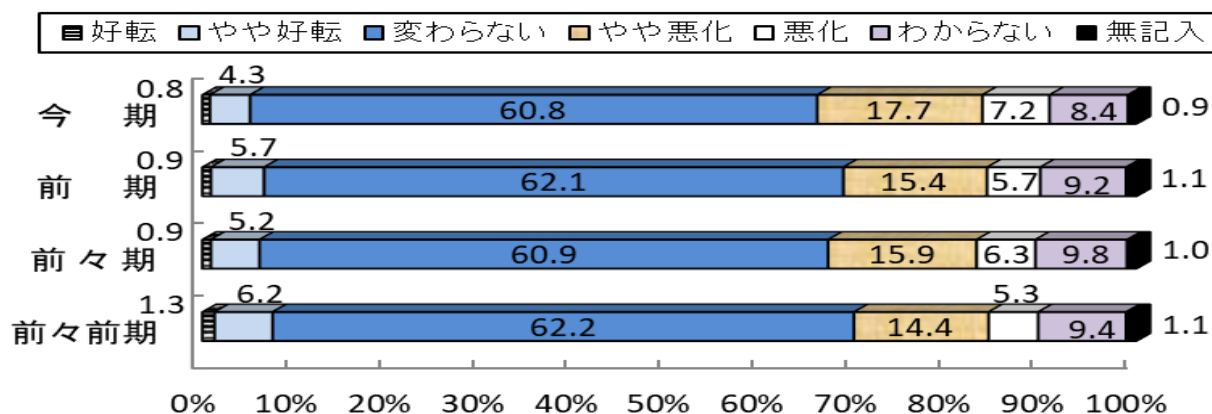
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が5.1%（前期6.6%）、「悪化・やや悪化」は24.9%（前期21.1%）でD I値は▲19.8（現状D I値▲14.4）となり、5.4ポイント悪化の見通しとなった。

業種別D I値では、交通運輸業で現状と比べマイナス幅が減少し改善の見通しとなり、製造業▲22.6、建設業▲10.4、卸売業▲23.9、小売業▲33.0、飲食業▲27.0、サービス業▲14.2、交通運輸業▲9.9、その他の業種▲16.4となった。

地区別D I値では、北勢地区▲20.4、中勢地区▲21.5、南勢地区▲13.8、伊賀地区▲24.3、東紀州地区▲20.5で現状と比べマイナス幅が増加し悪化を見通している。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,656 社のうち、借入を実施した企業は、971 社、36.6%（前期 1,116 社、43.9%）であった。

b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 16.5%（前期 18.3%）、「困難」は 10.4%（前期 11.5%）で、D I 値は 6.1（前期 6.8）とほぼ横ばいであった。

業種別 D I 値では、卸売業、交通運輸業で前回と比べプラス幅が増加し、小売業でマイナス幅が減少し改善が見られ、製造業 7.5、建設業 14.2、卸売業 9.2、小売業 2.9、飲食業▲7.9、サービス業▲2.5、交通運輸業 16.0、その他の業種▲3.4 となった。

地区別 D I 値では、南勢地区 4.4 でプラス幅が増加、中勢地区 13.5、伊賀地区 12.0 とほぼ横ばい、北勢地区 4.5 でプラス幅が減少、東紀州地区▲2.5 でマイナス幅が増加となった。

図-14 借入の難易度

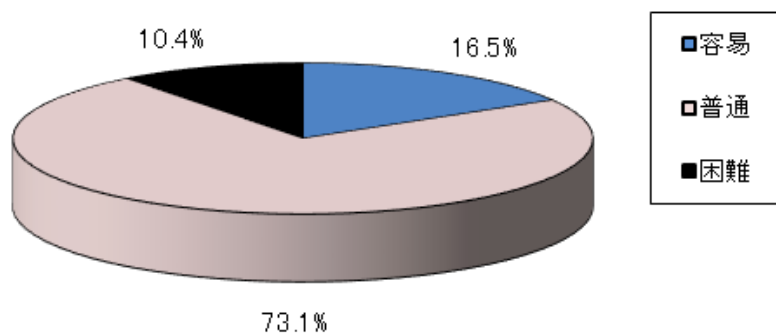
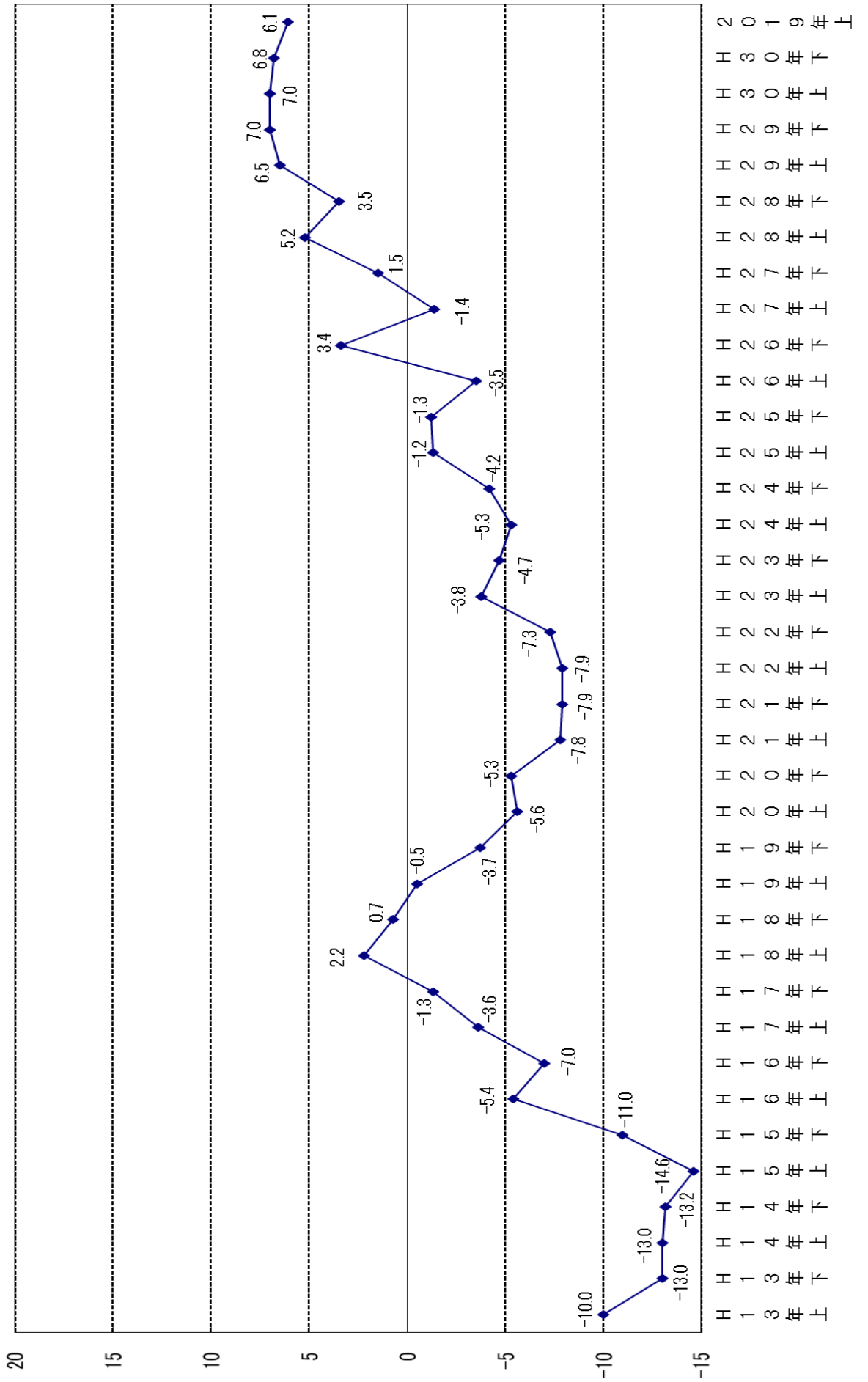


図-15 借入難易度D I 値の推移



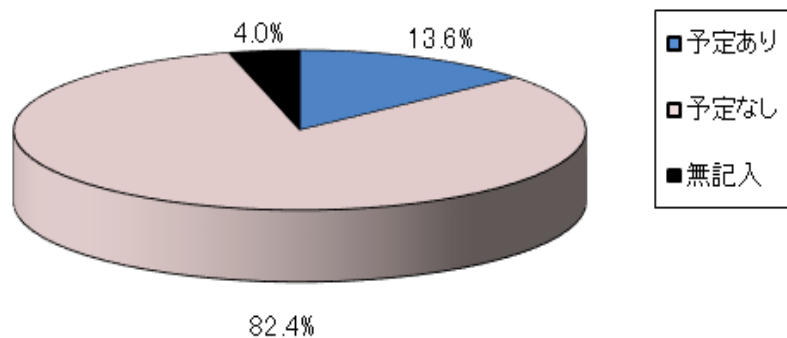
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,656 社のうち、借入を予定している企業は 361 社、13.6%（前期 371 社 14.6%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは交通運輸業が 21.3%と最も高く、飲食業が 8.2%と最も低かった。

地区別では、中勢地区が 16.5%と最も高く、北勢地区 14.1%、南勢地区 8.8%、伊賀地区 14.3%、東紀州地区 12.5 となった。

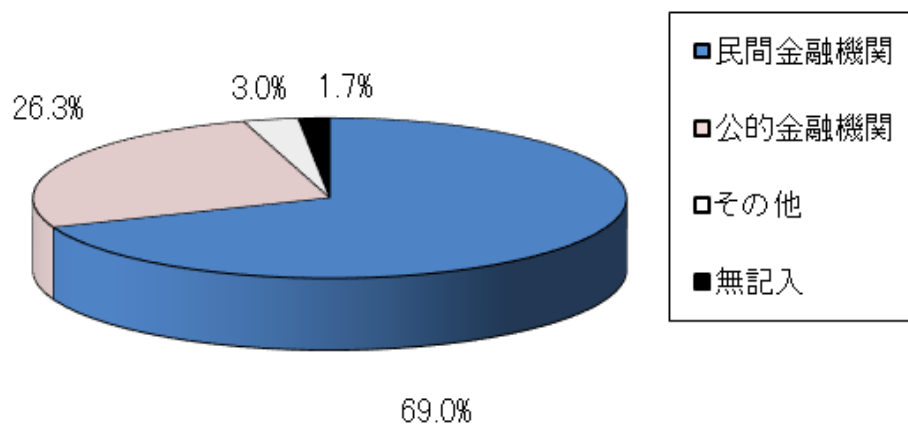
図-16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 69.0%（前期 67.1%）、「公的金融機関」は 26.3%（前期 25.1%）となった。

図-17 借入希望先

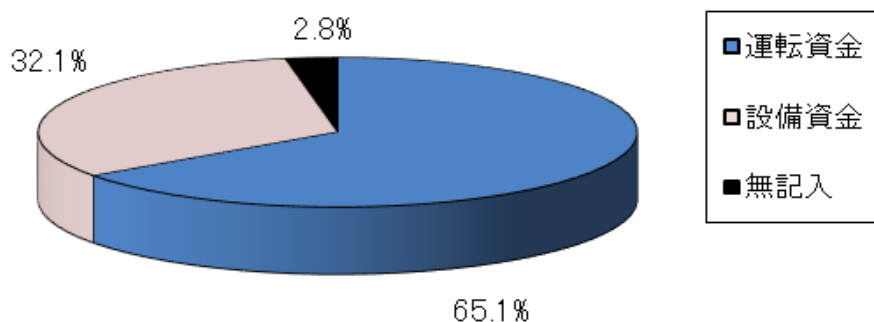


12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が65.1%（前期63.9%）に対し、「設備資金」は32.1%（前期33.2%）であった。

業種別では「運転資金」で卸売業が91.9%、「設備資金」でサービス業が45.8%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く42.7%（前期37.7%）、次いで「人手不足」が29.2%（前期34.8%）、「競争激化」が19.4%（前期21.8%）となった。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が、建設業、交通運輸業、その他の業種で「人手不足」の回答が最も多かった。

また、「売上・受注の停滞減少」は前期よりも5.0ポイント増加しており課題が強まっている。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第1位	第2位	第3位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (47.4)	人手不足 (27.0)	設備店舗の狭小老朽化 (25.0)
	建 設 業	人手不足 (52.1)	売上・受注の停滞減少 (32.4)	人材育成 (26.7)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (54.5)	競争激化 (25.6)	人手不足 (18.8)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (63.8)	競争激化 (32.2)	設備店舗の狭小老朽化 (20.5)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (40.4)	原材料高及び不足 (38.0)	設備店舗の狭小老朽化 (28.1)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (32.9)	競争激化 (25.5)	設備店舗の狭小老朽化 (22.5)
	交通運輸業	人手不足 (55.7)	人件費以外の経費増加 (29.5)	売上・受注の停滞減少 (27.9)
	そ の 他	人材育成 (29.1)	人手不足 (26.6)	売上・受注の停滞減少 (22.8)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (39.9)	人手不足 (31.8)	人材育成 (20.4)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (46.9)	人手不足 (32.5)	競争激化 (21.8)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (40.1)	人手不足 (26.6)	設備店舗の狭小老朽化 (20.9)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (45.6)	競争激化 (24.7)	人手不足 (23.6)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (54.0)	設備店舗の狭小老朽化 (21.5)	原材料高及び不足 (19.0)
総 合		売上・受注の停滞減少 (42.7)	人手不足 (29.2)	競争激化 (19.4)

県内商工会議所地区の景況

◎桑名商工会議所地区（調査対象 1,499 事業所 回答状況 360 事業所）

現 状

2019年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が17.8%（前期22.3%）、「やや悪い・悪い」が41.1%（前期34.0%）となった。D I値は▲23.3（前期▲11.7）となり、前期調査時に比べ11.6ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲34.2（前期▲16.0）・建設業が1.4（前期14.7）・卸売業が▲37.4（前期0.0）・小売業が▲45.5（前期▲38.8）・飲食業が▲21.4（前期▲53.9）・サービス業が▲8.4（前期▲8.5）・交通運輸業が25.0（前期▲33.3）・その他の業種が▲21.5（前期6.3）となった。

業種別では前期D I値と比較して飲食業、交通運輸業については改善が見られ、特に飲食業では大きな改善が見られた。サービス業では横ばいとなり、それ以外の業種については悪化となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が10.5%、「やや悪い・悪い」との回答は44.4%、D I値は▲33.9となった。

現状のD I値▲23.3と比較すると、10.6ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲43.8・建設業が▲4.1・卸売業が▲54.2・小売業が▲50.9・飲食業が▲35.8・サービス業が▲33.9・交通運輸業が50.0・その他の業種が▲21.5となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、交通運輸業が25.0ポイントの改善を見通すほか、その他の業種が現在と同じ水準で推移する見通しである。一方で製造業が9.6ポイント、建設業が5.5ポイント、卸売業が16.8ポイント、小売業が5.4ポイント、飲食業が14.4ポイント、サービス業が25.5ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、42.8%（前期36.4%）、「人手不足」が29.4%（前期31.5%）、「競争激化」が19.4%（前期20.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、飲食業、交通運輸業、その他の業種で「人手不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は52社14.4%（前期16.2%）であった。前期と比較して1.8ポイント減少した。

業種別では、製造業が10.5%（前期16.1%）、建設業が21.9%（前期19.1%）、卸売業が20.8%（前期14.3%）、小売業が7.0%（前期13.0%）、飲食業が35.7%（前期15.4%）、サービス業が11.9%（前期11.9%）、交通運輸業が25.0%（前期33.3%）、その他の業種が7.1%（前期31.3%）となった。前期と比較し、飲食業が20.3ポイントと最も増加幅が大きく、その他の業種が▲24.2ポイント

と最も減少幅が大きい結果となった。

◎四日市商工会議所地区(調査対象事業所事業所 2,434事業所 回答状況 586事業所)

現 状

2019年度1～6月の業況は、「良い・やや良い」が22.3%（前期24.5%）、「やや悪い・悪い」が37.4%（前期31.2%）となった。D I値は▲15.1（前期▲6.7）となり、前期調査時に比べ8.4ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲19.8（前期▲9.7）・建設業が▲4.5（前期7.9）・卸売業が▲6.7（前期▲35.4）・小売業が▲47.4（前期▲30.1）・飲食業が▲22.3（前期▲50.0）・サービス業が▲14.3（前期▲4.3）・交通運輸業が16.6（前期25.0）・その他の業種が▲5.9（前期0.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して卸売業・飲食業で改善が見られた。一方で、製造業・建設業・小売業・サービス業・交通運輸業・その他業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が14.1%、「やや悪い・悪い」との回答は37.2%、D I値は▲23.1となった。

現状のD I値（▲15.1）と比較すると、8.0ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲26.7・建設業が▲18.4・卸売業が▲20.0・小売業が▲52.5・飲食業が▲22.1・サービス業が▲15.1・交通運輸業が16.7・その他の業種が▲11.7となった。

業種別に現状のD I値と比較すると飲食業が0.2ポイント、サービス業が▲0.8ポイント、交通運輸業が0.1ポイントと現状の水準で推移する見通しである。一方で、製造業が▲6.9ポイント・建設業が▲13.9ポイント、卸売業が▲13.3ポイント、小売業が▲5.1ポイント、その他業種が▲5.8ポイントと悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く37.1%（前期31.3%）「人手不足」が32.9%（前期39.1%）、「人材育成」が19.5%（前期21.3%）と上位を占めた。

業種別では、卸売業が前期6位「人材育成」16.1%から今期2位の20.0%に変動した。「売上・受注の停滞減少」については、製造業では前期2位の32.5%が今期1位の43.1%、小売業では前期に引き続き今期1位の66.1%（前期54.0%）であり、「売上・受注の停滞減少」の課題が増大している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は114社19.7%（前期25.9%）であった。前期と比較して6.2ポイント減少した。

業種別では、製造業が23.3%（前期27.2%）、建設業が22.9%（前期22.4%）、卸売業が0.0%（前期9.7%）、小売業が8.5%（前期15.9%）、飲食業が27.8%（前期38.9%）、サービス業が24.1%（前期38.3%）、交通運輸業が16.7%（前期50.0%）、その他の業種では11.8%（前期23.8%）となり、前期と比較し、ほとん

どの業種で減少しており、建設業は0.5ポイントとほぼ横ばい、交通運輸業は、▲33.3ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。最も設備投資を行った業種は、建設業で46社が設備投資を行った。

◎鈴鹿商工会議所地区（調査対象 974 事業所 回答状況 313 事業所）

現 状

2019年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が21.0%（前期22.1%）、「やや悪い・悪い」が37.7%（前期33.2%）となった。D I値は▲16.7（前期▲11.1）となり、前期調査時に比べ5.6ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲23.7（前期▲22.5）・建設業が5.3（前期0.9）・卸売業が▲41.7（前期14.3）・小売業が▲57.5（前期▲42.1）・飲食業が▲15.4（前期7.7）・サービス業が▲12.5（前期▲7.8）となった。

業種別では前期D I値と比較して建設業で改善が見られた。一方で、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が13.1%、「やや悪い・悪い」との回答は45.7%、D I値は▲32.6となった。

現状のD I値（▲16.7%）と比較すると、▲15.9ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲32.9・建設業が▲18.4・卸売業が▲33.4・小売業が▲65.0・飲食業が▲38.5・サービス業が▲32.5となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、卸売業が8.3ポイントの改善を見通すほか、製造業が9.2ポイント、建設業が13.1ポイント、小売業が7.5ポイント、飲食業が23.1ポイント、サービス業が20.0ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く40.3%（前期34.7%）、「人手不足」が35.5%（前期43.9%）、「人材育成」が26.2%（前期29.8%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業は「人手不足」、飲食業は「原材料高及び不足」、サービス業は「設備店舗の狭小老朽化」及び「競争激化」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は51社16.3%（前期23.0%）であった。前期と比較して6.7ポイント減少した。業種別では、製造業が14.5%（前期23.8%）、建設業が21.9%（前期24.3%）、卸売業が16.7%（前期28.6%）、小売業が10.0%（前期18.4%）、飲食業が0.0%（前期30.8%）、サービス業が15.0%（前期12.8%）となった。前期と比較するとサービス業以外で設備投資の減少が見られ、飲食業が30.8ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

◎亀山商工会議所地区（調査対象 532 事業所 回答状況 114 事業所）

現 状

2019年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が17.6%（前期17.6%）、「やや悪い・悪い」が38.6%（前期43.3%）となった。D I値は▲21.0（前期▲25.7）となり、前期調査時に比べ4.7ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲24.0（前期▲41.9）・建設業が14.4（前期23.1）・卸売業が▲20.0（前期0.0）・小売業が▲44.8（前期▲46.7）・飲食業が▲42.9（前期0.0）・サービス業が6.7（前期▲35.2）・交通運輸業が▲50.0（前期▲28.6）・その他の業種が75.0（前期0.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業・小売業・サービス業及びその他の業種については改善が見られたが、それ以外の業種について悪化という結果となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.2%、「やや悪い・悪い」との回答は44.7%、D I値は▲32.5となった。

現状のD I値（▲21.0）と比較すると11.5ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲20.0・建設業が▲14.3・卸売業が▲40.0・小売業が▲55.2・飲食業が▲64.3・サービス業が▲6.7・交通運輸業が▲50.0・その他の業種が50.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が4.0ポイントの改善を見通すほか、交通運輸業が現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が28.7ポイント・卸売業が20.0ポイント・小売業が10.4ポイント・飲食業が21.4ポイント・サービス業が13.4ポイント・その他の業種が25.0ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、44.7%（前期35.1%）、「競争激化」が26.3%（前期15.5%）、「人手不足」が23.7%（前期30.9%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業・飲食業は「売上・受注の停滞減少」を、建設業は「人材育成」を、サービス業は「設備店舗の狭小老朽化」・「競争激化」を、交通運輸業は「人手不足」・「競争激化」を、その他の業種では「競争激化」・「人材育成」を上位に挙げている結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は17社14.9%（前期25.8%）であった。前期と比較して製造業・建設業・卸売業・サービス業・交通運輸業の業種で減少し、全体として10.9ポイント減少した。

津商工会議所地区（調査対象 1,668 事業所 回答状況 209 事業所）

現 状

2019年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が17.2%（前期22.3%）、「やや悪い・悪い」が32.0%（前期31.3%）となった。D I値は▲14.8（前期▲9.0）となり、前期調査時に比べ5.8ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲35.9（前期▲39.5）・建設業が10.4（前期18.2）・卸売業が▲37.5（前期50.0）・小売業が▲30.0（前期▲37.0）・飲食業が▲37.5（前期▲33.4）・サービス業が▲23.2（前期▲11.4）・交通運輸業が▲28.6（前期14.3）・その他の業種が▲18.2（前期▲13.3）となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業と小売業で改善が見られた一方で、それ以外の業種では悪化となった。特に卸売業と交通運輸業については大幅なマイナスとなった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.9%、「やや悪い・悪い」との回答は40.2%、D I値は▲27.3となった。

現状のD I値（▲14.8%）と比較すると、12.5ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲41.0・建設業が▲26.0・卸売業が▲62.5・小売業が▲30.0・飲食業が▲25.0・サービス業が▲10.2・交通運輸業が▲28.6・その他の業種が▲18.2となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、サービス業が13.0ポイント、飲食業が12.5ポイント改善を見通すほか、小売業、交通運輸業、その他業種が現在の水準を維持する見通しである。一方で建設業・卸売業・製造業は悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、44.0%（前期36.7%）、「人手不足」が36.8%（前期43.6%）、「人材育成」が21.5%（前期25.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業と小売業は「売上・受注の停滞減少」、建設業と交通運輸業は「人手不足」が第1位の項目となっている。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は43社（20.6%（前期21.8%））であった。前期と比較し1.2ポイント減少した。業種別では建設業が19社（前期15社）、サービス業が9社、製造業が5社であった。

◎松阪商工会議所地区（調査対象 826 事業所 回答状況 277 事業所）

現 状

2019年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が13.0%（前期22.4%）、「やや悪い・悪い」が43.0%（前期37.6%）となった。D I値は▲30.0（前期▲15.2）となり、前期調査時に比べ14.8ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲40.7（前期▲18.3）・建設業が0.0（前期33.9）・卸売業が▲26.7（前期▲20.0）・小売業が▲56.1（前期▲38.8）・飲食業が▲22.2（前期▲21.0）・サービス業が▲27.6（前期▲39.6）・交通運輸業が5.5（前期23.5）となった。

業種別では前期D I値と比較して、サービス業を除く全ての業種で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が6.5%、「やや悪い・悪い」との回答は48.3%、D I値は▲41.8となった。

現状のD I値（▲30.0）と比較すると、11.8ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲48.5・建設業が▲22.4・卸売業が▲26.7・小売業が▲60.7・飲食業が▲55.6・サービス業が▲31.9・交通運輸業が▲27.8となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、卸売業が横ばいする見通しである。一方で、製造業が7.8ポイント、建設業が22.4ポイント、小売業が4.6ポイント、飲食業が33.4ポイント、サービス業が4.3ポイント、交通運輸業が33.3ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く49.1%（前期38.0%）、「人手不足」が29.2%（前期38.0%）、「競争激化」が24.5%（前期19.7%）と上位を占めた。

また、業種別では製造業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、交通運輸業は「人手不足」、飲食業は「原材料高及び不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は41社14.8%（前期17.6%）であった。前期と比較して2.8ポイント減少した。

業種別では、製造業が12.5%（前期19.7%）、建設業が14.3%（前期13.2%）、卸売業が20.0%（前期6.7%）、小売業が7.6%（前期19.4%）、飲食業が22.2%（前期21.1%）、サービス業が17.0%（前期13.2%）、交通運輸業が33.3%（前期35.3%）となった。

前期と比較し、卸売業が13.3ポイントと最も増加幅が大きく、小売業は11.8ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

◎伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 310 事業所）

現 状

2019年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が11.3%（前期26.8%）、「やや悪い・悪い」が20.4%（前期27.5%）となった。D I値は▲9.1（前期▲0.7）となり、前期調査時に比べ8.4ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲5.8（前期15.8）・建設業が▲3.3（前期25.0）・卸売業が0.0（前期▲11.1）・小売業が▲31.（前期▲23.0）・飲食業が▲11.6（前期4.3）・サービス業が▲3.4（前期12.5）・交通運輸業が▲33.3（前期▲100.0）・その他の業種が50.0（前期▲33.4）となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業、交通運輸業、その他の業種で改善が見られた。一方で建設業、小売業、飲食業、サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が7.8%、「やや悪い・悪い」との回答は20.0%、D I値は▲12.2となった。

現状のD I値（▲9.1%）と比較すると、3.1ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲7.7、建設業が▲4.9、卸売業が▲25.8、小売業が▲31.3、飲食業が▲16.3、サービス業が▲1.7、交通運輸業が▲33.3、その他の業種が▲0.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業で▲1.9ポイント、建設業で▲1.6ポイント、卸売業で15.8ポイント、飲食業で▲4.7ポイント悪化を見通し、サービス業で1.7ポイント、で改善を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、40.6%（前期40.7%）、「人手不足」が26.8%（前期34.9%）、「競争激化」が19.4%（前期38.3%）、と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、交通運輸業で「人手不足」が上位を占めた。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は31社10.0%（前期14.6%）であった。前期と比較して4.6ポイント増加した。業種別では、製造業と飲食業が7社と最も多かった。

◎鳥羽商工会議所地域（調査対象 250 事業所 回答状況 111 事業所）

現 状

2019年1月～6月の業況は、「良い・やや良い」が13.5%（前期20.3%）、「やや悪い・悪い」が52.2%（前期54.8%）となった。D I値は▲38.7（前期▲34.5）となり前期調査時と比べ、4.2ポイントの悪化となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲48.4（前期14.2）・建設業が▲0.1（前期▲17.6）・卸売業が▲25.0（前期▲16.7）・小売業が▲77.8（前期▲63.1）・飲食業が▲50.1（前期▲38.5）・サービス業が▲16.7（前期▲60.0）・交通運輸業が0.0（前期▲100.0）・その他の業種が▲50.0（前期▲75.0）となった。業種別では前回D I値と比較して、製造業、卸売業、小売業、飲食業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が9.9%、「やや悪い・悪い」との回答は41.4%、D I値は▲31.5となった。

現状のD I値（▲38.7）と比較すると、7.2ポイント改善の見通しとなっている。

業種別のD I値を見ると製造業が▲22.6・建設業が▲23.5・卸売業が▲37.5・小売業が▲50.0・飲食業が▲42.8・サービス業が▲38.9・交通運輸業が100.0・その他の業種が0.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、建設業、卸売業、サービス業を除く業種が改善する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、前回と変わらず「売上・受注の停滞減少」が最も多く38.7%（前期46.4%）を占めた。次いで「設備店舗の狭小老朽化」が36.0%（前期34.5%）、「人手不足」が26.1%（前期27.4%）、と上位を占めた。

また、業種別では、卸売業、小売業、その他の業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、製造業、飲食業、サービス業で「設備店舗の狭小老朽化」、建設業では「人手不足」が上位を占めた。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は20社18.0%（前期19.0%）であった。前期と比較して1.0ポイント減少した。業種別では、製造業が12.9%（前期12.5%）、建設業が35.3%（前期31.3%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が16.7%（前期18.8%）、飲食業が21.4%（前期18.8%）、サービス業が16.7%（前期12.5%）、交通運輸業が0.0%（前期0.0%）、その他業種が25.0%（前期6.3%）となった。

◎上野商工会議所地区（調査対象 280 事業所 回答状況 82 事業所）

現 状

2019年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が11.0%（前期13.8%）、「やや悪い・悪い」が45.2%（前期39.0%）となった。D I値は▲34.2（前期▲25.2）となり、前期調査時に比べ9.0ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲38.8（前期▲16.6）・建設業が▲20.1（前期▲5.2）・卸売業が▲100.0（前期▲50.0）・小売業が▲29.6（前期▲22.3）・飲食業が0.0（前期0.0）・サービス業が▲38.5（前期▲52.9）・交通運輸業が▲50.0（前期▲100.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して、サービス業・交通運輸業でマイナス値ではあるが改善が見られた。一方で、製造業・建設業・卸売業・小売業においては悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が4.9%、「やや悪い・悪い」との回答は52.5%、D I値は▲47.6となった。

現状のD I値（▲34.2）と今後の見通しD I値（▲47.6）とを比較すると、13.4ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲55.5・建設業が▲26.6・卸売業が▲100.0・小売業が▲59.2・飲食業が▲33.3・サービス業が▲46.2・交通運輸業が0.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、交通運輸業が50.0ポイント改善を見通すほか、卸売業が0.0ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業が16.7ポイント、建設業が6.5ポイント、小売業が29.6ポイント、飲食業が33.3ポイント、サービス業が7.7ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く50.0%（前期50.6%）、「競争激化」が31.7%（前期31.0%）、「設備店舗の狭小老朽化」が22.0%（前期19.5%）、「人出不足」が17.1%（前期19.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業では「設備店舗の狭小老朽化」、サービス業では「競争激化」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は11社13.4%（前期13.8%）であった。前期と比較して0.4ポイント減少した。

業種別では、製造業が11.1%（前期5.6%）、建設業が6.7%（前期26.3%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が25.9%（前期11.1%）、飲食業が33.3%（前期25.0%）、サービス業が0.0%（前期17.6%）となった。業種別では、小売業が7社と最も多かった。

◎名張商工会議所地域（調査対象 200 事業所 回答状況 100 事業所）

現 状

2019年1月～6日の業況は、「良い・やや良い」が23.0%（前期29.3%）、「やや悪い・悪い」が35.0%（前期29.3%）となった。D I値は▲12.0（前期0.0）となり、前期調査時に比べ12.0ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲23.5（前期▲0.1）・建設業が▲13.1（前期19.1）・卸売業が28.6（前期16.6）・小売業が▲38.5（前期▲54.6）・飲食業が▲50.0（前期▲50.0）、サービス業が10.3（前期19.4）・その他の業種が▲33.3（前期▲12.5）となった。

業種別の前期D I値との比較では、卸売業・小売業の業種で改善が見られたが、製造業・建設業・サービス業・その他の業種については悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.0%、「やや悪い・悪い」との回答は42.0%、D I値は▲30.0となった。

現状のD I値（▲12.0）と比較すると、18.0ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲52.9・建設業が▲17.4・卸売業が▲28.6・小売業が▲69.3・飲食業が▲50.0・サービス業が▲3.5・その他の業種が▲33.3となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、飲食業とその他の業種が現在の水準でほぼ横ばいとなる一方で、製造業が29.4ポイント、建設業が4.3ポイント、卸売業が57.2ポイント、小売業が30.8ポイント、サービス業が13.8ポイント、悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く、42.0%（前期36.4%）、「人手不足」が29.0%（前期23.2%）、「競争激化」が19.0%（前期22.2%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業・その他の業種で「人手不足」、飲食業で「原材料高及び不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は20社20.0%（前期17.2%）であった。前期と比較して2.8ポイント増加した。業種別ではサービス業が7社と最も多かった。

業種別では、製造業が17.6%（前期14.3%）、建設業が17.4%（前期9.5%）、卸売業0.0%（前期16.7%）、小売業が23.1%（前期27.3%）、飲食業が25.0%（前期25.0%）、サービス業が24.1%（前期22.6%）、その他の業種では33.3%（前期12.5%）となった。

◎尾鷲商工会議所地域（調査対象 135 事業所 回答状況 134 事業所）

現 状

2019 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 13.4%（前期 12.1%）、「やや悪い・悪い」が 42.6%（前期 49.3%）となった。D I 値は▲29.2（前期▲37.2）となり、前期調査時に比べ 8.0 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲31.3（前期▲40.1）・建設業が▲13.0（前期▲7.4）・卸売業が▲70.0（前期▲37.5）・小売業が▲41.6（前期▲69.2）・飲食業が▲41.6（前期▲41.7）・サービス業が▲15.8（前期▲26.3）・交通運輸業が▲40.0（前期▲33.4）・その他の業種が 42.9（前期▲33.3）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業・小売業・サービス業・その他の業種で改善が見られ、飲食業は横ばい、一方で、建設業・卸売業・交通運輸業においては悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 9.7%、「やや悪い・悪い」との回答は 44.8%、D I 値は▲35.1 となった。

現状の D I 値（▲29.2）と比較すると、5.9 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲34.4・建設業が▲26.1・卸売業が▲60.0・小売業が▲50.0・飲食業が▲50.0・サービス業が▲21.0・交通運輸業が 20.0・その他の業種が▲14.3 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、交通運輸業が 60.0 ポイント改善を見通すほか、卸売業が 10.0 ポイントの改善を見通し、一方でその他の業種が 57.2 ポイント、建設業で 13.1 ポイント、小売業で 8.4 ポイント、飲食業が 8.4 ポイント、サービス業が 5.2 ポイント、製造業が 3.1 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については「売上・受注の停滞減少」が最も多く、54.5%（前期 53.0%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 20.9%（前期 22.7%）、「原材料高及び不足」が 19.4%（前期 22.7%）、「人件費以外の経費増加」が 17.2%（前期 11.4%）と上位を占めたが、業種別では、建設業が、前期 2 位「競争激化」25.9%から今期 2 位「人件費以外の増加」21.7%に変動していることから、「人件費以外の増加」の課題が表面化している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 17 社 12.7%（前期 22 社 16.7%）であった。前期と比較して 4.0 ポイント減少した。

業種別では、製造業 15.6%（前期 16.7%）、建設業 4.3%（前期 3.7%）、卸売業 20.0%（前期 0.0%）、小売業 4.2%（前期 11.5%）、飲食業 00.0%（前期 33.3%）、サービス業 21.1%（前期 26.3%）、交通運輸業 20.0%（前期 33.3%）、その他の業種 42.9%（前期 50.0%）となり、前期と比較し、卸売業が 20.0 ポイントと最も増加幅が大きく、飲食業は 33.3 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。業種別では、製造業が 5 社と最も多かった。

◎熊野商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 66 事業所）

現 状

2019 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 18.2%（前期 10.9%）、「やや悪い・悪い」が 48.4%（前期 47.3%）となった。D I 値は▲30.2（前期▲36.4）となり、前期調査時に比べ 6.2 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲23.1（前期▲60.0）・建設業が 57.1（前期 0.0）・卸売業が 0.0（前期▲50.0）・小売業が▲47.6（前期▲47.0）・飲食業が▲16.7（前期▲60.0）・サービス業が▲50.0（前期▲40.0）・その他の業種が▲80.0（前期 33.3）となった。

業種別では現状の前期 D I と比較して製造業と建設業と卸売業と飲食業で改善が見られた。一方で、サービス業とその他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 7.6%、「やや悪い・悪い」との回答は 47.0%、D I 値は▲39.4 となった。

現状の D I 値（▲30.2）と比較すると、9.2 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲46.2・建設業が 0.0・卸売業が 0.0・小売業が▲52.4・飲食業が▲16.7・サービス業が▲41.6・その他の業種が▲60.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、サービス業が 8.4 ポイント・その他の業種が 20.0 ポイント改善を見通すほか、卸売業と飲食業が現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業が 23.1 ポイント、建設業が 57.1 ポイント、小売業が 4.8 ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 53.0%（前期 50.9%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 22.7%（前期 27.3%）、「原材料高及び不足」が 18.2%（前期 21.8%）と上位を占めた。

また、業種別では、その他の業種以外は「売上・受注の停滞減少」が最も多くなっている。建設業では「人手不足」・「人材育成」が、卸売業では「設備店舗の狭小老朽化」・「製品・商品単価の下落」が、飲食業では「設備店舗の狭小老朽化」・「原材料高及び不足」が「売上・受注の停滞減少」と並んで最も多くなっている。その他の業種では「法的規制等の問題」が最も多くなっている。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 10 社 15.2%（前期 16.4%）であった。前期と比較して 1.2 ポイント減少した。

景況調査票

2019年7月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1. 食料品	2. 繊維品	3. 機械製品	4. 金属製品	5. 木材木製品
〈建設業〉	6. 化学製品	7. 土石業	8. 印刷・出版	9. その他	
〈卸売業〉	10. 土木工事	11. 建築工事	12. その他		
〈小売業〉	13. 食料品	14. 繊維・身の回り品	15. その他		
〈飲食業〉	16. 繊維・身の回り品	17. 食料品	18. 家具・日用品	19. 電気製品	20. その他
〈サービス業〉	21. 飲食店	22. 美容・理容	23. ホテル・旅館	24. 自動車整備	25. 不動産
〈交通運輸業〉	27. 交通運輸	〈その他〉	28. その他		

2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3 現状について…2019年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

理由:

4 今後の見通しについて…2019年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

理由:

5 売上状況について…2019年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	少
-------	---------	----------	---------	-------	---

6 売上の見通しについて…2019年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	少	6. わからない
-------	---------	----------	---------	-------	---	----------

7 利益状況について…2019年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	少
-------	---------	----------	---------	-------	---

8 販売条件(単価・決済方法)について…2019年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

9 仕入条件(単価・決済方法)について…2019年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. 仕入なし
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	---------

10 設備投資について

2019年1～6月の実績		2019年7～12月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし

11 資金繰りの現状について…2019年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

12 資金繰りの見通しについて…2019年7～12月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

13 借入の現状について…2019年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

14 借入予定はどうですか…(2019年7～12月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-② 資金用途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

()

御協力ありがとうございました。